

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名 : 福岡県国際文化情報センター
- 2 指定管理者 : 公益財団法人 アクロス福岡
- 3 指定期間 : 平成28年4月1日～令和3年3月31日
- 4 施設設置目的 : 県民に文化の創造と享受の場を提供するとともに、国際的な文化、情報の総合的交流拠点とし、もって県民の生活と文化の向上に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
 - (1) 点検方法 : 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2) 点検結果 : 別添のとおり

1 管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> 当施設の設置目的を踏まえ、県の文化振興施策に沿った事業展開や安全快適な施設の維持など、更なる利用者サービスの向上に努める。 平等利用の視点から、誰にでも快適に施設を利用できる運営を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動においては、県の文化振興施策に沿った事業を展開し、施設運営では安全管理の徹底と利便性の向上を図り、窓口サービスや接客マナーの向上など利用者の立場に立った一層のサービス向上に努めている。 全ての人々が施設を快適に利用できるよう努めている。特に高齢者や障がい者が利用する際は、職員による誘導・介助など適切な対応を行っている。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> 施設サービス事業について、総合的なサービス強化や、ニーズの把握、営業誘致の強化を通して施設利用を促進する。 (目標全館稼働率 85.0%) 文化振興事業は、顧客ニーズを踏まえながら、バランスのとれた事業を展開する。 (目標入場者数 160,000人) (目標事業数 90事業) (目標友の会会員数 4,500人) 情報提供事業について、インターネットの普及、アジアからの来訪者の増加を意識した情報発信を強化する。また、地域の伝統文化の紹介や、地域での文化活動を支援する場の提供を行う。 	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴うイベント開催の自粛等により、利用者数、稼働率等が減少。感染防止対策として、サーモカメラ、空気清浄機、消毒液を設置するとともに、「業種別ガイドライン」に基づいた施設管理を徹底して実施している。</p> <p>○施設サービス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口や電話対応等を通じて寄せられる利用者ニーズを把握し、サービス向上を図っている。 新型コロナウイルス感染症に対応するため、会議室利用者等に対し、通常の会議とWeb会議を組み合わせた新しい会議方法や、無観客でセミナーを開催しWeb配信するサービス等の運営手法を提案し、利用促進を図っている。 <p style="text-align: center;"> { 利用者数：233,864人（対前年度△67.6%） 施設稼働率：46.1%（対前年度△26.0%） } </p> <p>○文化振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、事業実施数が減少する中、感染防止対策を行い小学校への派遣演奏を実施するなど、芸術文化に触れる機会を絶やさないよう努めた。 アクロス福岡大規模改修によるシンフォニーホールの休館に伴い、友の会会員の新規加入及び会員継続の手続きを停止した。現在、既存の友の会制度に代わる無料のWEB会員制度等について検討している。 <p style="text-align: center;"> { 事業数：40事業（対前年度△37事業） 入場者数：37,730人（対前年度△77.3%） } </p> <p>○情報提供事業</p> <p>地域の伝統文化を紹介する多彩な企画展や文化講座を開催。 また、SNS（ソーシャルネットワークサービス）の普及に対応するため、フェイスブックに加え、ツイッターやインスタグラムも活用して、効果的・効率的な情報発信に努めている。</p> <p>○地域・伝統文化の紹介と活性化</p> <p>伝統工芸品の展示及び企画展や、歴史文化を中心とした講座を開催 37企画 入場者等数 54,332人（対前年度△36.9%）</p> <p>○国際化に向けた受入れ体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSを活用するとともに、ホームページにおいて、多言語で公演や文化・観光情報を発信 1階観光案内所において、窓口を訪問する外国人利用者へ情報を提供

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> ・実施目的を明確にして事業を行い、事業・経営の評価を定期的に行うことで、効率的な運営を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用促進のため、大学や関連団体等に働きかけ、景気に左右されにくい医学会、国際会議の誘致に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催件数は減少。 医学会、国際会議開催件数：8件（対前年度△60件） ・感染症拡大の影響により、利用料金収入が減少。 <ul style="list-style-type: none"> （利用料金収入実績（施設サービス事業）：237,656千円（対前年度△56.2%） 県委託料（指定管理料）：476,743千円（対前年度+68.0%） ※上記委託料は、感染症拡大に伴う指定管理料の補填料（227,951千円）を含む。） ・文化振興事業については、感染症対策に留意しながら、廉価なコンサートや参加型事業など公益性を重視した事業と、人気アーティストや著名楽団等、収入の見込める事業をバランスよく実施している。
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営や各事業を着実に実施するための人材、職員体制を確保する。 ・自主財源比率を確保しつつ、経営効率化を進め、財政基盤を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性を備えた人材を確保し、施設の管理運営、文化・情報事業の確実な実施に必要な組織体制である。 ・借入金がなく、健全な財務体質を維持している。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策、危機管理対策の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防火防災対策として、ビル管理会社と共同で火災・地震発生時の初動対応訓練を実施している。 ・日常的な防災意識・防災体制の充実強化に向け、小グループによる防災研修などの取り組みを実施している。

2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容のとおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当施設の設置目的を踏まえ、質の高い芸術鑑賞の機会提供に加え、地域と連携したコンサートの開催といった文化振興事業を実施している。 ・文化活動者へ発表の場を提供するとともに、ホームページ、SNS等の媒体を通じて伝統工芸品や演劇などの魅力を情報発信している。 ・防災訓練などの安全管理を徹底するとともに、高齢者や障がい者が施設を利用する際の職員による誘導・介助など、利用者サービスの充実に努めている。 ・新型コロナウイルス感染症に対応した会議運営手法を提案するなど工夫を凝らし、積極的な営業活動に取り組んでいる。 <p>以上のとおり、施設の設置目的に沿って、概ね提案どおりの運営が行われている。</p>
---	--